

令和6年3月6日

## 車両埋没訓練で隊員の対応力強化

～建設会社の協力で重機使用不可の現場を再現～

### 1. 風水害を伴う土砂災害を想定

春日部市消防本部では、3月4日(月)・5日(火)に、消防本部屋外訓練場で土砂災害対応訓練を実施しました。

令和6年1月に発生した能登半島地震や令和3年7月に発生した熱海市伊豆山土石流災害など、近年の災害は激甚化・頻発化しており、気候変動による大規模な風水害を伴う土砂災害に対応するため、本訓練では重機が入れない場合の人命救助を想定し、災害対応能力強化を図ることを目的として実施したものです。

### 2. 消防本部の設備面強化で発生した土を活用

消防本部では、施設面における災害対応能力の強化として、受変電設備の浸水対策や非常用発電機などの更新工事を進めています。本訓練の実施に当たり、工事受注者の構成員である正和工業株式会社協力のもと、建設時に発生した土を活用し、自動車を土砂に埋没させ、土砂災害を想定した訓練場所を再現しました。

### 3. 救助活動に必要な知識や技術の共有・連携の強化

本訓練には、延べ約30人の隊員が参加し、土砂に埋没した要救助者を救出するために必要な土留めの設定要領や救出する際の注意点などを確認し、土砂災害活動に関する知識・技術の共有と連携を強化することができました。

消防本部では、今後も訓練を継続し、各種災害への対応能力の向上を図ります。



車両埋没訓練の様子



建設会社による訓練準備

※報道関係者に限り本訓練の写真データなどの提供が可能です

#### 問い合わせ先

消防本部 総務課

担当：石塚 直通／内線 738-3116/4513